

2025年5月13日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2025年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 吉岡 貴司）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。また、歯と口の健康週間企画として、生活者参加型プレゼントキャンペーン「歯みがきチャレンジ宣言キャンペーン」を実施します。本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動をご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2025年度 歯と口の健康週間について』

目 的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見および早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標 語：「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」

（福島県 南会津町立 舘岩中学校 1年 湯田 一颯さん作）

本年度重点目標：心と体を支える歯と口の健康づくり ～生涯にわたる口腔健康管理の推進～

乳幼児期から高齢期まですべてのライフステージにおける歯と口の健康に関する正しい知識を啓発するとともに、適切なセルフケアと定期的なプロフェッショナルケアを推進することが、健やかな心と体を育むために重要であることから、「心と体を支える歯と口の健康づくり」を重点目標とする。

実施期間：2025年6月4日（水）～同年6月10日（火）まで

主 催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

< 1 > 2025年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会および日本歯磨工業会

『デザイン』 illustrator、絵本作家の「ももろ」さんを新たに起用 (B3サイズ 多色刷り)

『2025年度 標語』 「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から福島県 南会津町立 舘岩中学校1年の湯田 一颯（ゆだ いぶき）さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「歯みがきで心と体を健やかに」（日本歯磨工業会のコンセプトメッセージ）

『配 布』

ポスター25万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。2024年からは、ご要望にお応えし、当工業会ホームページからPDF版ポスターのダウンロードも可能としました。

・ポスターダウンロードサイト URL <https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/poster.html>

『活 用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2025年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」(<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/>)では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」(<https://www.hamigaki.gr.jp/>)では、歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。

1. 2025年度の歯と口の健康週間企画

●歯みがきチャレンジ宣言キャンペーン（4月～6月、実施中）

各自の日常の歯みがき回数や歯間清掃実施状況に合わせたお口のケアのステップアップ策をご紹介し、新たに取り組むお口のケアを宣言すると抽選で100名様に500円のオリジナル図書カードを進呈。さらに、お口のケアを続けるコツなどを投稿した方の中から抽選で10名様にオーラルケア製品の詰め合わせセット5千円分をプレゼント。秋にはキャンペーンのアンケート結果や投稿内容を紹介予定。

・キャンペーン募集ページ URL <https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/challenge.html>

2. 2024年度の「みがこうネット」からの主な情報発信

（1）歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「第4回コンセプトメッセージキャンペーン」（4月～6月）

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

応募総数 5,015件（穴埋めクイズ4,744件、イラスト271件）



日本歯磨工業会会長賞



優秀賞の一例



佳作の一例



キッズ優秀賞の一例

②第13回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」（8月～10月）

応募総数 8,162件 期間中、ホームページのアクセス数も平常月の4倍に増加。

(2) 口腔と全身健康の関連性啓発新コンテンツ掲載（12月）

新コンテンツ「からだの健康とお口の意外な関係」を掲載。
年代別からだの病気とお口の健康との関連性をわかりやすく解説し、お口のケアの対応方法を紹介しました。



(3) アニメ「がんばれ！みがく君」更新（2回）

「第38話 この春デンタルフロスを始めませんか」（デンタルフロスのコツを紹介）4月

「第39話 災害に備え液体ハミガキを使ってみよう」（平常時の活用法を紹介）9月

3. 「みがこうネット」の2025年度コンテンツ制作・更新予定

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「歯みがきチャレンジ宣言キャンペーン」（4月～6月）

②第14回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」（8月～10月）

(2) セルフケア製品の特長と使い方の理解促進に関するWebコンテンツの改訂（11月掲載予定）

(3) 各コンテンツの更新

- ・はみがきカレンダー（年4回更新、毎日の歯みがき実施をカレンダーでチェック）
- ・がんばれ！みがく君（年2回更新、「輝く笑顔へチャレンジの春」を4月に公開）
- ・メールマガジンの継続発行（キャンペーン開始・新コンテンツの告知）

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

●保健指導者向け「お口のセルフケアハンドブック 歯みがきで心と体を健やかに」（B5版）

●歯科専門家向け「歯磨剤の科学」（B5版、データ図表多用、2024年12月に改訂）

< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

1. 高齢化社会における地域・職域の口腔健康増進指針の国際標準規格づくりの推進

日本歯磨工業会は、2022年5月より高齢化社会における地域・職域の口腔健康増進指針の国際標準規格^注づくりに参画しています。この規格は、歯科健診、歯みがきなどのセルフケア、歯科医院でのプロケアを組み合わせ、地域社会や職域での口腔疾患予防を推進するためのガイダンス規格で、高齢化社会におけるお口の健康を基軸としたウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に健康で幸福な状態）実現を促すものです。これにより、歯科健診や歯みがき関連市場の世界的な拡大が期待できます。2024年10月には当工業会が事務局となり、WHO口腔保健協力センター長／新潟大学歯学部歯学科 教授の小川祐司先生を議長とする国内準備検討会を立ち上げ、日本歯科医師会、日本歯科医学会など有識者の参加も仰ぎ、規格内容の議論を開始しました。2025年末までに国内準備委員会がISO（国際標準化機構）に新作業項目提案を行う予定で、最終的には2030年頃の規格化を目指します。

注：ISO 25554（高齢社会・地域社会と組織のウェルビーイング推進ガイドライン）の傘下に
オーラルヘルスに関する子規格を新設する活動をISO/TC 314/WG 4として展開中。

2. フッ素配合量1000ppm以下のフッ化物配合薬用歯みがきのフッ素濃度表示指針の制定

フッ素配合量1000ppm超～1500ppm以下の高濃度フッ化物配合歯みがきについては、自主基準にて、フッ素濃度を記載すること及びその表示方法を定めていますが、2024年3月に、フッ素配合量が1000ppm以下であるフッ化物配合歯みがきについても、記載するか否かは各社の任意としつつ、記載する場合における表示方法のガイドラインを制定し開示しました。

- ・フッ素濃度表示ガイドライン URL <https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/display.html>

3. 歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2024年度の開催回数は39回（歯科衛生士養成校37回 歯科衛生士会2回）、2025年度も積極的に活動します。

※これまでの累計実施実績（1993年～2024年）

実施校数(廃校除く)	123校	～全国の歯科衛生士養成校の約7割～
延べ受講人数	35,834人	

4. 歯みがき類の表示に関する公正競争規約／同施行規則の改訂（関連団体：歯磨公正取引協議会による活動）

2024年9月、消費者庁、公正取引委員会承認のもと、歯みがき類の表示に関する公正競争規約および同施行規則について、ステルスマーケティングに関する項目について改正を行いました。

- ・歯みがき類の表示に関する公正競争規約／同施行規則 URL

<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/kiyaku.html>

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨および関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISOなどの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971年6月に設立、会員14社、賛助会員14社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03（3249）2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <https://www.hamigaki.gr.jp/>

<会長メッセージ>

2025年「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長

吉岡 貴司

昨今、全世界的に自然災害リスクが高まってきているように感じております。このような状況の中で、災害時の避難生活における誤嚥性肺炎のリスクも大きく報じられております。災害時は、極端な水不足で口腔の清掃不備などになりやすい傾向にあることから、オーラルケアの実践は命を守るケアにつながるともいわれております。万が一、被災された時にでも、日頃から、しっかりと口腔ケアの習慣を身につけることが日々の健康、自分自身を守ることに繋がっていると考えております。また、口腔ケア行動、口腔衛生意識の向上が、全身疾患の予防につながり、生活者の笑顔溢れる生活の実現と健康寿命の延伸に貢献するものと考えております。

その為にも重要な啓発活動の一つである「歯と口の健康週間」が、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会などの主催の下、6月4日から始まります。今年の歯と口の健康週間の重点目標は「心と体を支える歯と口の健康づくり～生涯にわたる口腔健康管理の推進～」です。お口を健康にするには、ライフステージ別に、子供から高齢者までの歯とお口の健康啓発を行い、自宅でのオーラルケア行動と定期的な歯科受診を行うことを習慣化することが重要であり、そのことが、健やかな心と体を育むことにつながります。

日本歯磨工業会では、毎年「歯と口の健康週間」に、歯と口の健康週間ポスター25万枚を作成し、全国の学校や歯科医院などに配布するとともに、この時期に合わせて生活者の皆さまに歯とお口の健康意識を高めていただく一助としてのプレゼントキャンペーンを実施しております。2025年は、歯みがきや定期的な歯科受診を促す「歯みがきチャレンジ宣言キャンペーン」を4月から6月の3か月間実施し、歯と口の健康習慣づくりのための生活者の行動変容につなげていければと考えております。

また、1989年に8020運動が始まり、当時80歳で20本以上の歯を残されている方は、10%前後でありましたが、現在では、8020達成者は50%を越える状況となっています。多くの方々が、口腔ケアの重要性に気づき、ケア行動を行って頂いたことが、この結果に繋がったと思っています。今後も、残存歯の数は増えていくと思いますが、残存歯のケアと共に、口腔機能（噛む、飲み込む、発音、表情を作るなど）の維持向上も重要な課題です。歯を残すこと、口腔機能を維持することが、全身の健康にも密接に関係しています。高齢者のフレイル（心身の機能低下）が、社会問題化していますが、その入り口が口腔機能の低下、すなわちオーラルフレイルと言われています。このオーラルフレイルの状況を早期に自覚し、対応することで、老化（老いの坂）を緩やかにするとも言われています。国民の健康寿命延伸に応える為、人々が、自身の口腔状態に気づき行動変容して頂けるように私たち日本歯磨工業会は、「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」ことを使命として、その実現のために5つのビジョンを設定し、多面的な情報発信、啓発活動、研究活動などを実施し、口腔の健康増進指針の国際標準規格づくりも推進して参ります。こうした活動を通して、プロケアとセルフケアに対する理解が深まることにより、オーラルケア市場の拡大を図って参りたいと思います。皆様方には、今後とも格別のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以 上

<ご参考：日本歯磨工業会の使命・ビジョン・コンセプトメッセージ>

使命（我々は誰のために何をする目的で存在するのか） 2018年5月制定

日本歯磨工業会は、歯と口の健康を通じて、
人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献します。

ビジョン（使命を果たすためにどんな存在となるのか） 2018年5月制定

1. オーラルケア情報と手段を提案する、最も身近な存在
2. 口腔セルフケアの新たな可能性を開拓・提案する存在
3. 世界の口腔衛生の発展に貢献する存在
4. 行政、業界諸団体と協働し、健康づくりに貢献する存在
5. 快適な生活を支えるために、環境に配慮する存在

コンセプトメッセージ 2021年5月制定

「歯みがきで心と体を健やかに」

歯みがきなど日頃の歯と口のケアの積み重ねが心身の健康維持につながることを表現しています。このメッセージを啓発活動に活用し、歯と口の健康への関心を高めるとともに歯みがきやお口のケアの重要性を発信しています。